



発行 / (公財) 広島市文化財団 文化事業部 事業課
〒730-0812 広島市中区加古町4-17 JMSアステールプラザ内
TEL082-244-0750 FAX082-245-0246
Eメール bunka@cf.city.hiroshima.jp
ホームページ http://www.cf.city.hiroshima.jp/bunka/
編集・印刷 / 大村印刷株式会社
表紙イラスト / 田中 聡

to you



高野 菜々さん(こうの・なな) 女優

広島県出身。広島音楽高校を経て、2008年6月から音楽座ミュージカルに参加。初舞台から主役に抜擢、圧倒的な歌唱力と大胆な演技が注目され、以後、常に主要な役柄をつとめている。『君のいる町』加賀月役、『タンブルリーフ』フィグ役(主役)、『妖怪ウォッチ2』フミアキ役、ディズニー・チャンネル『パグ・パグ・アドベンチャー』ピンゴ役(主役)など声優としても活躍。『Dream Theater』(TOKYO FM、広島FM)で3年間、現在は『THEATER NANA』(広島FM毎週木曜日18:00)のラジオパーソナリティをつとめている。

ミュージカル 音楽座ミュージカル『グッバイマイダーリン★』

原作は大人のための絵本としても名高い児童文学の名作、ルーマー・ゴッデンの『ねずみ女房』。“普通の主婦”として暮らしていたねずみの奥さん。ある日、カゴに捕らわれたキジバトが家にやってくる。キジバトの語る家の外の世界に、やがてねずみの奥さんは胸躍らせ、心を寄せていく…。

時 / 7月17日(水) 13:30 ~ 会 / JMSアステールプラザ 大ホール
料 / 全席S席8,640円(全席指定) 原作 / ルーマー・ゴッデン著『ねずみ女房』



コンサート 音楽座ミュージカルコンサート in 広島 vol.2 「IMAGINE」

広島出身の4人のメンバーによるコンサート。音楽座ミュージカルで上演された楽曲の中から選りすぐったナンバーを披露。歌と踊りと話して、心温まるひと時が過ごせそう。

時 / 8月3日(土) 15:00 ~、18:30 ~ 会 / クラブアクトロ
料 / 6,480円(全席指定)

出演(予定) / 高野菜々、平田薫、森彩香、吉原千遥 ほか

読者プレゼント
(P.15に詳細)



ひとこえ

今、伝えたい思いを
一人ひとりが
歌に台詞にこめて。

広島に生まれ育ち、現在は音楽座の主要メンバーとして全国を忙しく飛び回る高野菜々さん。主演を務める今回の公演を前に舞台への思いを伺いました。

■舞台に立つことへの思い

子供の頃から歌うこと、踊ることが好きでした。当時は自分のぼっちゃりした体形にコンプレックスがあり、人前で表現するなんて私にはできないと思っていました。ただ、そんな自分を変えたいという気持ちもどこかにありました。叔父の影響でミュージックシアター ASAKITAに参加した時に、自分がやりたいのはこれだ!と確信を得ました。それからはとにかく努力しました。広島音楽高校で学んだ後にオーディションを受けて音楽座に入り、今年で10年になります。学生時代はスキルが一番大切だと思っていたのが、音楽座の舞台作りを経験していくうちに、舞台で表現する上で一番大切なことは「自分が表現したいのは何なのか、心根に何を持っているか」だと思うようになりました。

■音楽座の舞台づくり

音楽座は1987年の設立以来、「目に見えないものこそ大切」というコンセプトのもとに作品を作り続けています。プロデューサー、俳優、スタッフなど立場の違いは関係なく、稽古でみんなが自由に意見を出し合い、音楽も台本も毎回、ゼロから作り上げます。ですから今回の作品は再演ですが、初演とは全く違うものになります。「自分がこの作品を通して伝えたいことは何か」を、一人ひとりが深く掘り下げて考えます。その答えはみんな違って当然で、それぞれの思いを抱えて舞台に立ちます。私はそこが音楽座のすごくいいところだと思っています。心にあるメッセージは一人ひとり違っていても、ただ一つ私達に一貫しているのは、観てくださった方にこの舞台で生きる勇気や、よりよい明日にするための何かを届けたいという思いです。スキルだけでは人は感動しません。私たちがとことん掘り下げて見つけたメッセージを、ぜひ会場で、心で感じていただけたらと思います。